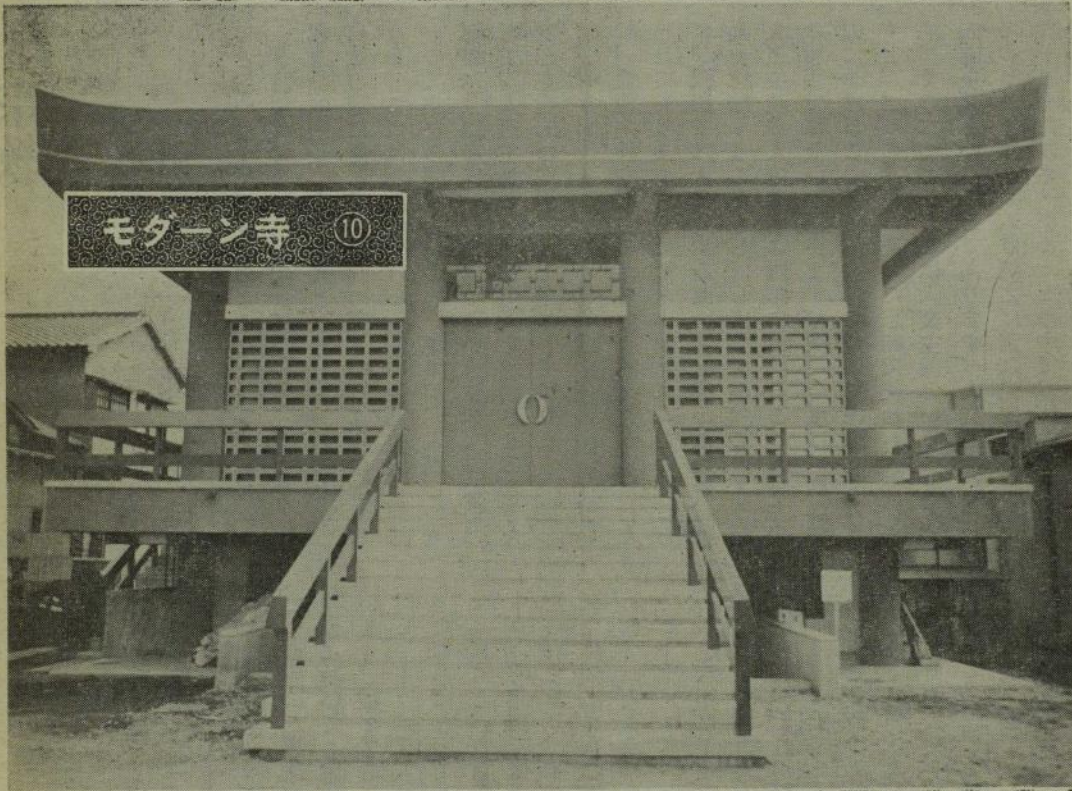


# 全 仏

No. 137

7 / 43.



文京区向丘 一音寺

特集

現代ヒューマニズムと宗教

早稲田大学教授 原 一 郎 氏

財団法人 全日本仏教会

# 現代ヒューマニズムと宗教

早稲田大学教授

原 一 郎



ヒューマニズムと宗教との関係について意見を述べるようにお求めをいただきましたが、これはなかなか厄介な問題で、決して生易しいことではありません。何故かと言いますと同じヒューマニズムという言葉でも色々違った内容が意味されており、それらの違った意見によってヒューマニズムと宗教との関係も違ったものになるからです。この点少し谷川先生のお話と重なる所があるかと思えますし、意見においてもくい違う所があるかと思えます。まず、我国で普通一般にヒューマニズムという言葉で表現されている意味や内容と、欧米において意味されている内容とは大きな相違があります。これが問題を非常に厄介なものにして

ると思いますが、ご存知のようにヒューマニズムという言葉は、今、谷川先生のおっしゃったように、我国では一般に人道主義と訳され、神の道とか、自然の道に対して、人間の道というふうに通じるものから問題ないと思えますが、人道という言葉は我国では一般にはそういう意味ではないのです。人道主義という、人を感動させるような愛他主義的な理想主義を意味しております。従って我々がヒューマニズムを人道主義と訳さないで、愛他主義的なものだという考え方が常に行なわれております。またヒューマニズムということでは、我国では人に対する温い情味豊かな気持、行動を意味することもしばしばですが、このような人道主義、人情主義は西洋におけるこの言葉本来の意義ではないと思えます。次に今度は、西洋諸国におけるこの言葉の内容について注意してみますと、二つの非常に違った意味で使われております。その二つというのは人文主義ということ、人間主義ということであり、人文主義としてのヒューマニズムは例えば宮本先生がお訳しになりましたルネ・グルッセの中で、彼のヒューマニズムの定義としてフランス・アカデミーの出している辞典の中で定義していますように、ヒューマニズムとは「古典文学、特にギリシャとローマ

の文学に親しむことによって生ずる知性と心情との教養」ということであり、この人間主義としてのヒューマニズムは英国のオックスフォード辞典が定義しているように、ヒューマニズムとは「神に対する興味ではなく、人間に対する興味に関心を持つ思想体系」ということであって、同じヒューマニズムという言葉でも人文主義と人間主義とは意味内容が非常に違っており、その結果この二つの違った意味がヨーロッパでもあるいはアメリカにおいても思想上激しい混乱や論争となっています。従ってこの二つの見解の相違によって当然ヒューマニズムの宗教に対する関係も非常に違ったものになっております。西洋諸国でもヒューマニズムという言葉は、ドイツ、フランスなどヨーロッパ諸国では主として人文主義という意味で使われており、イギリス、アメリカのようなアングロサクソン系の国では人間主義という意味で使われているようです。これは語源的な理由があってヒューマニズムという言葉が十九世紀の初め、一八〇八年にドイツのニートハンマーという哲学者によって「古典的人文主義」という意味で初めて造られ、それがフランスやその他のヨーロッパ大陸諸国に伝ったもので、それから四年後、一八二二年ですが、英国でコールリッジという浪漫派の詩人であった人がニートハンマーとは全然別にまた古典的人文主義とは無関係に「キリスト人間説」という意味で使ったのです。これはもちろん単なる人間主義ではないけれども、キリストは神ではなくて人間であるということを主張する点では明らかに一種の人間主義だといえると思えます。かようにヒューマニズムという言葉は我国においても欧米においても違った意味で使われていま

す。従って我々はヒューマニズムと宗教との関係を考へる場合、それらの意味の区別をはっきり念頭に置いておかないと混乱が生ずると思ひます。そこでヒューマニズムと宗教という問題ですが、我国ではヒューマニズムと言いますとそれをすぐ宗教、特にキリスト教と結びつけて考へる傾向が多い。私共がヒューマニズムのことを申しますとお前はキリスト教とよく言われませんが、私はキリスト教を否定してヒューマニストとなつたのですが、日本ではしばしばヒューマニストとキリスト教を結びつけて言う人が多い。例えば代表的なヒューマニストにアルバート・シュバイツァーとか内村鑑三とかいうキリスト教の名前があげられるのです。これはどうしてかと考へますと、先程申しましたように我国ではヒューマニズムという言葉が人道主義と訳されますが、人道とは「正義・人道・博愛」といった愛他理想主義的な徳目と結びつけて考へられますので、従って隣人愛とか仏教の慈悲とかという宗教的愛他主義が連想されるのではないかと思ひます。ところが西洋では、ヒューマニズムというものは必ずしも宗教と結びつけて考へられない。ヒューマニズムは、むしろ宗教とは直接関係のないもの、宗教に批判的なもの、時としては宗教を否定する時もしばしばあるのであります。これは西洋におけるヒューマニズムの本来の意味が我国におけるような人道主義とか、人情主義とかいうものでなく、人文主義、人間主義ということであるからだと思います。勿論西洋でもヒューマニズムが宗教と密接に結びついている場合があります。キリスト教ヒューマニズム、キリスト教ヒューマニズムとい

うのがそれでありませう。キリスト教ヒューマニズムというのは、キリスト教の文化的伝統の中に生まれ、その基盤とかたく結びついたものでありまして、ペトルルカ、エラスムス、メランヒトンなどというヒューマニスト達はキリスト教で、ヒューマニズムの擁護者で、現在の多くのヒューマニストのように非キリスト教、反キリスト教であつたのではないのです。ジャックマリタンのような人、カトリック的な人、真のヒューマニストでアンテギラルなんて人もおります。しかしながら、西洋におけるキリスト教ヒューマニズムは決して我国で考へてるようにキリスト教的人道主義を意味するものではなく、キリスト教的人文主義を意味するものです。そしてキリスト教的人文主義とは、キリスト教の信仰と倫理の上に立つて人格の教養、いわゆる「バイディア」を求めらるものなのであります。ところで、キリスト教的ヒューマニズムということに対して仏教ヒューマニズムとか、儒教ヒューマニズムとか、神道ヒューマニズムとかいうことが言われております。ご存知のようにシルバン・レヴィは仏教ヒューマニズムといふことをいい、ルネ・グルッセは孔子のヒューマニズム、神道のヒューマニズムといふことをも言っております。かように欧米の学者が東洋の宗教に関してヒューマニズムといふ場合、そのヒューマニズムとは古典的人文主義を意味するものであつて、決して人道主義を意味するものではありません。すなわち、キリスト教ヒューマニズムがキリスト教の伝統的文化に親しむことによつて知性と心情の教養を深めることを目指すものであるように、儒教、仏教、神道ヒューマニズムは、儒教、仏教、神道の伝統的文化に親しむことによつて知性と心情の教養を深めることを目指すもの

だと思ひます。しかしながら、ヒューマニズムには宗教に対してかように親密に結びつくものばかりでなく、宗教に対して極めて批判的な、時としては否定的な立場をとるものもあります。例えばフォイエルバッハやマルクス、バートランド・ラッセルや中江兆民、福沢諭吉の立場などがそれでありませう。これらの人々もヒューマニストですが、彼等のヒューマニズムは伝統的文化に親しむことによつて人格の教養を深めるためではなく、現代の科学的、合理主義的世界観に立つて伝統的文化を冷徹に観察し解剖批判し、人間の新しい時代を創造しようとする科学的人間主義であります。これらの科学的人間主義的ヒューマニストは現代における宗教の存在理由を否定し、人間主義的ヒューマニズムを以て宗教に代つて現代人の生活の指導原理たらしめようとするのであります。しかし、科学的人間主義としてのヒューマニストの中には、今挙げました人のように宗教を全然否定するのではなく、これまでの宗教には満足しないが宗教というものの本質や機能の新しい見地から考へ直して、現代人に真にふさわしいヒューマニズムの宗教を現代の科学的世界観、人間観の上に築きあげようとする人もいます。例えばフランスのオーギュスト・コントとか、英国の生物学者ジュリアン・ハックスレーとか、米国のワイマ教授とか、ユテリアン派の中でヒューマニストと呼ばれてる宗教家達がそれでありませう。このようにヒューマニストと呼ばれてる人々の宗教に対する立場には三つあると思ひます。第一はキリスト教ヒューマニズムや仏教ヒューマニズムのように、それぞれの宗教の伝統的文化に親しむことによつて人格の教養を求めらる宗教的人道主義の立

場、第二は現在における宗教の存在理由を否定し、今日の科学的倫理的ヒューマニズムを以て現代人の生活倫理たらしめようとする非宗教的人間主義の立場、第三は科学的な世界観、人間観の上に新しいヒューマニズムの宗教を築きあげようとする宗教的人間主義の立場であります。つまり、宗教に対する人間主義の立場にも二つあるのであります。私が、今日のヒューマニズムの中にこの対照的な立場の適切な例を見出しますので、それを紹介したいと思います。今日の英国の代表的なヒューマニストの中で、生物学者のジュリアン・ハックスレーは進化論的ヒューマニズムの世界観の上に新しいヒューマニズムの宗教を築きあげようとしていますが、英国ヒューマニズムの指導者H・J・ブラクハムという人は「インテリム・ヒューマニズム」すなわち「中間的ヒューマニズム」ということを唱えて、ヒューマニズムは宗教と別な世界を持つものであるということを中心としておられます。この「インテリム・ヒューマニズム」という言葉の中の「インテリム」という語は、「中間報告」のことを英語で、「インテリム・リポート」といいますが、あの「インテリム」でありまして、「中間的ヒューマニズム」とは、つまりヒューマニズムは宗教のように究極的なものに対する関心とは無関係なもので、究極的なものに至るまでの中間的な世界、いわば世俗的な、セキユラーな世界こそヒューマニズムが機能を発揮し、その意義を見出す世界であるという主張です。ブラクハムという人の主張は、今日の一般人の存在におけるインテリム・ヒューマニズムの重要性を力説し、究極の問題についてどのような見解がいだかれてるにせよ、今日、どのような

教育を受けた人の視野も中間的ヒューマニズムでいっばいなのだ。また今日、仏教、キリスト教、回教、インド教など、色々な宗教がそれぞれ究極的な解決を主張しているが、それらの宗教のどの一つを以てしても、今日の全人類を一つに結びつけることが不可能であり、今日の全人類を一つに統一することのできるのには宗教の相違や有無を超え、全人類に共通な人間的地盤の上に立つヒューマニズムだけであるというのです。かように人間主義的ヒューマニズムの宗教に対する態度にも、ヒューマニズムから新しい宗教を発展させようとするものと、宗教とは別個のものであるとするものとの二通りであるのであります。次に私は、普通一般の宗教人と、特にヒューマニズムの立場をとる宗教人との相違を考えてみたいと思います。すなわち、普通一般のクリスチャンとクリスチャン・ヒューマニスト、又は普通一般の仏教者と仏教ヒューマニストの違いを考えてみたいと思えます。先程私は、フランス・アカデミーの辞典の定義に従って、宗教的ヒューマニストとはそれぞれの宗教の伝統的文化に親しむことによって知性と心情の教養を求め人文主義と定義いたしました。この定義はそれで一応いいと思いますが、さらに深く考えてみますと、宗教的ヒューマニズムは単にその宗教の伝統的文化に親しむだけでは不十分で、さらにそれ以上のものが要求されているのではないかと思えます。では、それ以上のものとは何かといえますと、それは理性の尊重、隣人の尊重、特に宗教の領域においても、理性の役割を尊重するということであります。ご存知のように、オーソドックスのキリスト教においては教会のドグマは神の絶対的啓示で、それに対してはた

だ無条件な信仰が要求され、人間の理性の批判を全く許さないもので、聖書は神の言葉であり、人類に対する神の救いは十字架上のキリストの死によって歴史上ただ一回限り啓示されたのであります。人間はキリストの死により贖罪を信ずることによってのみ救われると説かれております。しかし、そのようなドグマは普通の人間の理性または良識によっては到底受け入れられないものであります。まして、理性を尊重するヒューマニストには到底受け入れることができないのであります。特にバルトなどの危機神学において、ヒューマニズムが目の仇のように扱われておりますのは信仰と理性という問題によるのであります。ドグマティックなオーソドックスのキリスト教におきましては、宗教には信仰だけが要求され、理性の客像を許さないのですが、ヒューマニスティックな宗教においては信仰と理性が協力すべきものとされております。ところで、これと同じことが仏教の浄土門の信仰などについても云えるのではないかと思えます。この点については皆さんのご批判を受けたいと思えます。ご存知のように、浄土門では大無量寿経に記されている法蔵菩薩の救世の本尊阿彌陀如来としてのその実現に関する説話を究極的なリアリティーの絶対的啓示として、そのまま信じ、受け入れることによって人間は救われると説き、實際上、純真な信仰によって救われているのであります。しかしながら、大多数の人間にとってそのような妙好人の信仰を持つことは果して可能でしょうか。大多数の人間は、法蔵菩薩の説話、神話の中に諭されている宗教的真理の意味を理解し、味わい、深い感銘を受けることはできません。でも、それを絶対的事実として素直に信じること

は到底不可能だと思えます。法蔵菩薩の説話の中に象徴的に示されている宗教的真理を細やかに味得し、それによって強い感銘を受けてもそういう理解と感銘はそれがいかに細やかで強いものであっても、要するにそれはヒューマニストの経験であって、真の浄土門の信仰ではないと思えます。親鸞が「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずれば、偏に親鸞一人がためなりけり」と語った時、彼は浄土門の真実の信仰を告白したのであります。が、「自然法爾抄」において、「弥陀仏は自然のやう(様)を知らせんれう(料)なり」、即ち阿弥陀如来は自然というもののあり方を知らせる材料、即ち象徴であると述べて、阿弥陀如来の本質を理性の立場から理解し説明しようとした時、彼も早浄土門の妙好人ではなく、一個のヒューマニストであったと言わなければならぬと思えます。しかし親鸞はその言葉に直ぐ続いて、「この自然のことはつねに沙汰すべきにあらざるなり」と書いて、信仰に対するヒューマニスト的理解の態度を禁じています。このことは要するに、親鸞が純一な信仰者であってヒューマニストではなかったことを示していると思えます。しかし私は、現代の仏教ヒューマニストは、親鸞が「弥陀仏は自然のやうを知らせんれうなり」という理性によるヒューマニスティックな理解の態度をもっと徹底的に押し進めてくれたらよかったのにと、心ひそかに願うのではないかと思うのです。

そこて仏教ヒューマニズムは、仏教の文化的伝統に親しむことによって知性と心情の教養を求め人文主義であるとし、仏教ヒューマニズムとは、要するに仏教という伝統の内部での問題、仏教という世界の中での問題だと思われるのであります。真に現代人としての今日の世界に力強く生きようとする仏教者は、単に仏教ヒューマニズムの立場ばかりに止まるべきではなく、もっと広い、全人類的な普遍的ヒューマニズムの立場をも取るべきではないかと思うのです。今や全人類が一つに結び合おうとして様々な矛盾や問題と闘いながら必至の努力をしています時、仏教者もクリスチャンもマルクス主義者も自由主義者も、すべての人間がそれぞれの特殊な立場を超えて、一つの共通な普遍的ヒューマニズムによって結ばれることが要求されていると思えます。この問題についてフランスの東洋学者ルネ・グルッセが、今から十数年前に来朝した際行なった「新ヒューマニズム」という講演か(宮本先生の翻訳)有益な示唆を与えてくれました。彼はまずキリスト教ヒューマニズム、仏教ヒューマニズム、儒教ヒューマニズムといった個々の宗教の伝統的基盤の上に立つところの、「信仰の翼にのせられたヒューマニズム」を説きながらも、単にそういう伝統的宗教ヒューマニズムだけで満足せず、個々の宗教的基盤を超えた全人類の・普遍的ヒューマニズムの必要を強調し、力説した。彼は次のように云っています。「ヒューマニズムのおかげで、およそ人間的なもので私たちに異国的なものはない。しばらく忘れよう、私たちがユダヤ人であることも、キリスト教徒であることも、無信仰者であることも、自由主義者であることも、マルクス主義者であることも。ヒューマニズムは私たちにあって万人の共有財産なのだ」と、グルッセ自身はカトリック教徒であります。今引用した通りカトリックの立場を超え、ユダヤ人もキリスト教徒をも、無宗教者もマルクスをも包容する全人類的

な普遍的ヒューマニズムの必要を強調しているのであります。私はグルッセがこの普遍的ヒューマニズムの交わりに単に色々な宗教に属する人々だけではなく、無信仰者もマルクスをも参加させているところに注目したいのです。彼はこのような全人類的なヒューマニズムの交わりの根拠をただ「人間への信仰」という一事に見出していません。私は、仏教ヒューマニストもキリスト教ヒューマニストも、真にヒューマニストであろうとするなら、仏教ヒューマニスト、キリスト教ヒューマニストであると同時に、仏教をもキリスト教をも超える全人類的な普遍的ヒューマニストでなければならぬと思えます。

現代という時代、今日の世界そのものが、すべての人に対してそういう普遍的なヒューマニズムを要求していると思えます。そして仏教ヒューマニズムと普遍ヒューマニズムとは決して相容れないものではなく、互いに補い合うものであると思うのであります。

(去る三月十六日開催の日本仏教文化会議東京会議において、谷川徹三先生(前号掲載)に続いて御講演いただいた要旨である。文責 任全仏文化局)

### 郵便番号記入について

七月一日より封書・ハガキ等に郵便番号を記入しなければなりません。全日本仏教会の番号は「〇四」ですので御承知下さい。

# 政党宗教政策

全仏では、参議院議員選挙に際し、次の三政党幹事長及び書記長に対し、「宗教政策について」回答を求めたところ、  
自民党は、自由民主党政務調査会、民主社会党は、春日一幸氏、日本社会党は、中央本部政策審議会河野道夫氏より以下のような回答がよせられた。

## ▼自由民主党

日本国憲法は信仰の自由を認めております。このことは旧帝国憲法においてもそのとおりであります。

人間の生活には、宗教を離れて考えられないものもあり、また、宗教心こそ人間の生活を豊かにし、人間性を深めるものであります。

日本には往古から宗教があり、また、日本人の生活と文化がこの宗教によって高められたことは厳然たる歴史的事実でもあります。

世界の国には特定の宗教をもって国教としている国家もありますが、日本の場合はそのようではありません。しかし仏教はその歴史的な永い伝統として各宗教のうちでも最も国民の間に定着しているように考えられます。信仰は個人の自由であり、あくまで個々人の問題として扱うべきものと信じます。

## ▼民主社会党

科学技術の発達と組織化は、人間の良心と個性を没却せしめ、浅薄にして皮相な人間を造り上げつつある。とりわけ革新政党は、それを支持する労働組合が、

唯物思想に基づく階級対立の思想に支配される傾向にある。

民社党は、この唯物思想の誤りを指摘して人道的思想に基づく、人格中心の政治をめざしている。如何なる科学の力も、所詮人間によって動かされるものであり、人間の良心こそが、一切の支配者となるべきものである。中道の政治はここからでている。科学、技術、組織これ等のものを支えているものは人の心であり、これを創りだし、これを磨くのも人の心である。人の心を育てる中心的役割こそ宗教者である。科学の力が大きくなればなる程、それを支える宗教界の使命と責任は重大である。民社党はこのような根本の見解に基づいて、宗教界の奮起を要望する。そして腐敗に充ちた今日の政界へ、宗教界から、浄らかな風を送って戴くことを期待もし、或は各宗教団体からその代表者を政界に送り込まれることも歓迎する。

しかし公明党の政界進出に対しては、これに反対し、公明党と対決する。宗教団体が政党を結党することは、今日の時点では意義がない。公明党の本質は、創価学会の議会対策部にすぎない。まして創価学会は、仏教の中の法華経を信ずるとみせながら、その実体は余りにも排他的であり、高慢でありすぎ、法華経の信仰者とは、似ても似つかない団体である。公明党が大きくならないことは、即創価学会の発言力の増大となる。他の一切の宗教を邪教、迷信と独断する公明党の増大は、日本に於ける信仰の自由にとって危機を招来する。

公明党の背後に在る創価学会の存在は、宗教の正しい任務と使命を国民全体に誤解せしめる。それは、正しい宗教団

体自体にとって迷惑であり、まして創価学会を宣伝する道具として公明党を利用して、公明党の力を増大せしめることによつて、創価学会を国教に仕立て上げんとする野望は、この際打ち抜いておく必要がある。

## ▼日本社会党

①思想信仰の自由を強調し、権力による統制を極力排除するのが、わが党の根本的主張です。

②宗教人が、その宗教に基づく信念及び教団の利害関係から政治活動すること、他の（たとえば経済）団体に属する人々が、その団体の名において政治活動をするのと同様に認められなければならない。しかし、特定宗派を国家的宗教としようとすることは、特定宗教の思想信条をもって全国民を律しようということにはかならず、これは①に反するため、社会党は反対です。

③公立学校における特定宗教に関する教育は排すべきですが、社会党は、特定教団による私立学校の特定宗派教育を否定するものではありません。

④いかなる宗派であれ、国家としてその宗教政策上留意しなければならないことは、(イ)宗教の道德性と社会教化上の意義・役割（ただし、しばしばこれが既存体制の弊害をも許容する、保守的・反動的役割を果すことには充分警戒を要します。）(ロ)既存宗教が所有する歴史的文化財は、国家・国民の遺産であるから、宗派を問わず保護するのが国の義務であること。

—御贈答に!!記念品に!!布教用に!!—

- ◎全国観光温泉地1泊旅行に御招待  
又は豪華なお品を御贈呈(輸入商品1口5万円毎)洩れなく
- ◎日用文化用品を5品御贈呈(輸入商品1口3万円毎)洩れなく

弊社取扱商品(印度・セイロン製)直輸入品

緑香・白檀(香・製品)・沈香・民芸品(木彫・象牙・真鍮・其ノ他)等

お問合せは  
全国総発売元



〔法衣・莊嚴・仏具〕  
〔贈答用・記念品〕

梅金商店

名古屋市中区岩井通り4の2 TEL名古屋<052>241-0901・1920

協賛 印度大使館・セイロン大使館

指定推薦 全日本仏教会・輸入元 かたばみ商事貿易部

◆詳細は御一報下さればカタログを御送附します

# スラチナ ポケット

¥1000~¥3000

# 全日本仏教徒会議 来年度第十七回大会は成田山開催内定

六月二十八日真言宗智山派成田山新勝寺で、全日本仏教会事務局・成田山新勝寺・千葉県仏教会の三者で話し合いの結果、来年度第十七回全日本仏教徒会議は前記三団体主催で、十月二日(木)、同三日(金)成田山新勝寺大本堂正殿で開催されることに内定した。全仏では、理事会で承認を求め、決定することになった。

昨年岐阜大会後、全仏組織局では千葉県仏教会(会長松田照応師)会長及び理事長に開催依頼してあったもので、千葉市は、大きな会場等がないため、成田山の好意により急遽決まった。成田山新勝寺と千葉県仏は、早速準備に入った。当日は、新本堂地階会議室で開かれ、千葉県仏より、次のような要項案が示さ

れ、一応了承された。

一、会議名称

第十七回全日本仏教徒会議 成田山大会

一、主催団体

全日本仏教会・大本山成田山新勝寺・千葉県仏教会

一、参加関係

参加者は、少数精鋭主義を採り、議題を限定して、発言を多くし、実のある会議とする。等々、出席者次の通り。

千葉県仏―熊野竜夫、牛田秀淳、山口隆芳、阿部賢有、大久保滋暢、菱木貞俊、朝倉俊夫、森田彦英、村上英俊、垣浦泰雲、高木乗正、村嶋照弘

本山―松田貫主、寺務長、神貫部長、内田教務課長、高宮同補佐、秘書長、別所智山派教学部長

# 第十三回全仏講習会 岡山市で七月二十八日開催

例年開催の全仏講習会は、本年は秋の仏教徒会議岡山大会盛り上げの意味からも、会場を岡山県に移し、七月二十八日(日)岡山県中央労働会館に於て開催される運びになった。

当日は午前八時半より受付開始、九時開講式のあと、講師の三先生に講演を頂き、引続いて「全一仏教運動の指標」(内定)についてシンポジウムを行ない、四時半終了の予定である。

参加資格は寺院住職及び寺族を中心に寺院推せんの方までとし、三講師との質疑応答をも含めて、実のある講習会にもっていきたい。講師及び演題は次のとおりである。

一、「禅の理念とその実践」山田霊林師(永平寺副貫首、前駒大総長)

一、「釈尊の根本思想」友松円諦師(神田寺主管、真理運動本部主幹)

一、「明治百年にあたり聖徳太子を憶う」

全仏―伊藤組織局長、柳、伊東、近藤、阿部各部長、福井主事

九州 中国・四国 ブロック会議を開催

関東甲信越静ブロック会議に続いて、九州ブロック、中国・四国ブロック代表者会議をそれぞれ、七月二十四日、二十五日福岡市、七月二十七日岡山市で開催し、地域仏教会の強化策、未組織県仏の組織化等につき協議することになった。

## 十勝沖地震救援金青森県へ

全仏では、加盟団体より寄せられた十勝沖地震救援金二十万円を、青森市仏教会(会長楠見知行師)を通じ、七月十八日に、青森県庁で知事に手渡すこととなった。

出口常順師(和宗管長、四天王寺管首)

多数の参加を期待しているが、参加希望者は岡山県仏事務局(岡山市平井七〇九、妙広寺内)まで御申込下さい。受講料無料。尚宿泊希望者はその旨お知らせ下さい。お世話いたします。詳細は全仏加盟各宗派、団体に通知するので、照会されたい。

# 宗教法人の税金問答集

A5判・縦組/美装カバー付  
定価五〇〇円・七七〇

## 文部省 萬波宗務課長推薦!

税金のかかる収入と、税金のかからない収入の見分けかた!

- ◎設例一五四問に具体的解答
- ◎検索至便な関連条文一覧つき

●宗教法人に不動産を贈与、又は現金を寄付した場合の税金はどうなるか?  
●学校・幼稚園・技芸教室を運営している場合の税金はどうなるか?

●結婚式場・宴会・宿泊施設を運営している場合の税金はどうなるか?  
●貸ビル・マンション・駐車場を運営している場合は?

●宝物殿・観光施設を設けて収入を得ている場合は?  
●各種の記念品・みやげ物・おみくじ・お札を販売している場合は?

●職員給与の源泉徴収はどうか?その他あらゆる宗教法人の税金問題について、具体的に質疑応答の形で解説しています。

◎注文の際、この誌名をお書き添えください。



## 帝国地方行政学会

東京都新宿区西五軒町三郵便番号六三  
電話(三三六一三)代表 振替東京六  
出張所 札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・松山・福岡

# 鶏足寺墓地問題解決

栃 木

昭和三十三年五月より約十年間、強行埋葬者と墓地問題につき争ってきた栃木県鶏足寺では、本年に入り裁判官より和解勧告があり、その内容が、墓地は檀信徒墓地であるという事的主張が明確になったので和解調停に応じ、九年九月より解決した。

鶏足寺住職皆川隆光師は、全国からの激励、支援を感謝し、全仏へその和解条項(別掲)を報告してきた。

## 和解条項

一、原告(反訴被告、以下原告と称する)は、別紙目録(略)記載の原告寺有墓地のうち、別紙図面(イ)(ロ)(ハ)(ニ)の各点を結び範囲の墓地部分を、被告(反訴原告、以下被告と称する)が使用することを承認し、被告は右墓地の使用について原告に対し、準檀徒として経済的な意味において、応分の外護の勤めを果すこと。

二、従って原告は、被告が本件墓地に亡小松トク、亡小松作一及び亡小松コーの焼骨を無典礼で埋蔵することに異議がない。

三、被告は、前各項の墓地使用について、本件墓地が原告の寺有墓地であることにかんが

み、原告が属する宗派の典礼を尊重して原告の宗教感情を傷つけるような行為(墓碑塔婆等の施設を含む)を一切しないこと。

四、当事者双方のその余の請求は放棄する。

五、訴訟費用は、本訴及び反訴を通じ、各自の負担とする。

裁判所書記官 山口 文男  
受命裁判官 石沢 三千雄

## 総務専門委員会

五月九日総務専門委員会が開かれ、互選で委員長に板橋有成、副委員長に白川良純・小倉俊明の各師を決め、全仏諮問の財団法人全日本仏教会加盟団体負担金に関する規程について審議、今後随時合意を重ねて、今秋までに答申案を作成することをきめた。尚、出席委員は、植松威、小熊寛澄、四宮正音、山本芳道、高橋恵峻、古宇田亮宣、西寺律州、小倉俊明、白川良純、板橋有成の各師。

## 静岡県仏事会

静岡県仏教会(松村寿頭)では、六月五日午前十時より静岡市日蓮宗蓮永寺において理事会がひらかれ全県下市郡仏代表四

十三名が出席し、本年度の運動方針案を熱心に討議し、全議案が承認された。

同県仏は会報の発行、檀信徒組織をすすめるなど全一仏教運動が強力にすすめられている。全仏本部から柳組織部長が出席し岡山大会等本部の方針について説明した。

## 静岡県仏婦十周年大会

静岡県仏教婦人会では、結成十周年記念大会を九月二十八日静岡市駿府会館に会員七千名を集めて盛大に行われる。当日は高田好胤師の記念講演、村田英雄ショーなど多彩に催される。

## 宗派・県仏団体・人事(就任)

真言宗山階派	管 長	築波 常通
滋賀県仏教会	会 長	木辺 宣慈
副 会 長	鷲尾 隆輝	
山田 恵諦	柳下 隆爪	
神奈川県仏教会	事務局長	川崎市大師町
新事務所	平間寺内	
黄葉宗務本院	財務部長	近藤 正典
庶務 "	中山 通殿	
教務 "	鈴木 竜珠	
宗務長	坂井 亮典	
真宗大谷派宗務所		
西山禅林寺派宗務所		

## 全日本仏教青年会

参 務	清谷 得龍
" "	佐々木近衛
" "	手島圭二郎
理 事 長	杉谷 義純
副 理 事 長	石上 智康
" "	増田 貞円
" "	茶田 義照

◎電話番号  
岐阜県仏教会事務局  
〇五八二一五一—三一九三

## 全国寺院名鑑のお知らせとおわび

全国寺院名鑑は本年三月刊行予定でしたが

- ① 極度の人手不足
- ② かさなる諸物価の値上がり

のため大変おくれ御迷惑をかけております。現在、全国寺院の名簿は印刷中であり、名鑑もほとんど原稿整理の段階を終わり、印刷にかかっております。完成までの予定は

▽印刷終了は七月末〜八月中旬  
▽製本は八月中旬〜九月中旬  
▽発送は九月中旬〜十月中旬  
となりまます。どうかもうしばらくお待ちくださるようお願い致します。

なお購入予約者のかたにはのちほど葉書で、おわびと御通知をさし上げる予定ですが、とりあえず本紙上でお知らせをした次第です。 全日本仏教会 寺院名鑑刊行会

## 十勝沖地震救援金

全国都道府県仏教会代表者会議  
千葉県仏教会 四一、五〇〇  
千葉市 " 一〇、〇〇〇  
日蓮宗 " 一〇、〇〇〇  
新義真言宗 " 一〇、〇〇〇  
東京本願寺浅草高等美容学校生徒会 一一、七七八  
京都府仏教会 一〇〇、〇〇〇  
福井県仏教会 一、二〇〇  
(昭和四十三年六月十四日現在)



## 寺のお紙表

一音寺浄土真宗本願寺派。本郷通り向丘二丁目と白山上の交わったところにあるお寺。

妙伝町で創建され、後小石川指ヶ谷町に移転し、さらに現在地に移転した。

昭和二十年焼夷弾で焼失し、同四十二年三月より再建の工事に着手、同十一月本堂等の建物が完成。現在附帯工事中。

仏以山得解院一音寺(維摩經)という。住職松本隆道師・東京都文京区向丘一―九一 二八・電話(八一)四〇六一